

アリウム「丹頂」切り花は2℃および5℃の低温湿式で1週間保管できる

アリウム「丹頂」切り花の湿式（切り花を水に生けた状態）保管では、1週間保管の保管後および生け花後の切り花品質は保管温度2℃および5℃が保管なしと比べて差は小さい。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室（担当者：松野佑哉）

研究のねらい

アリウム「丹頂」は、4～5月の出荷期集中による単価下落と労働力集中が問題となっている。また、出荷量が減る6月以降に安定した品質のアリウム切り花の出荷が求められている。そこで、出荷時期の分散と延長を目的に冷蔵庫を活用した切り花保管温度を明らかにする。

研究の成果

1. 湿式保管後の切り花品質は、保管温度2℃が5℃および8℃と比べて開花切り花割合が低く、着色進行が遅く、保管前との変化が小さい（表1、図1、図2）。
2. 生け花後の切り花品質は、半分開花到達日数では保管温度2℃および5℃が8℃と比べて長く、茎黄化の発生率では保管温度2℃が5℃および8℃と比べて低い（表2、図2、図3、図4）。
3. 保管温度2℃および5℃では1週間の保管で、保管時の開花はなく、着色進行割合は小さく（表1）、生け花後の切り花品質は保管なしと比べて差はない（表2、図3）。

普及上の留意点

1. 2020年3月25日に採花した県内産地（施設栽培）の切り花を用いた結果。サンプル調整は、脱葉後、切り花長60cmに調整、20℃暗黒下で水道水を24時間吸水処理後、予冷库にて保管を実施。生け花後の日持ち調査は、恒温室（温度25℃、12時間照明設定、照度1,000lxの蛍光灯下）で、200mlの三角フラスコに1本ずつ生け、水替えなしで実施した結果。
2. 供試切り花の切り前は、着色率25.8%～30.0%。
3. 湿式保管は水道水に生けて水替えなし、生け花開始時の切り戻しなし。

表1 湿式保管時の温度と期間が保管終了後の切り花品質に及ぼす影響

保管期間	保管温度	開花切り花 着色	
		割合 <sup>z</sup> (%)	進行割合 <sup>y</sup> (%)
なし	-	0	100
1週間	2℃	0	114
	5℃	0	123
	8℃	13	149
3週間	2℃	0	144
	5℃	38	167
	8℃	100	171
5週間	2℃	13	142
	5℃	63	187
	8℃	100	170
7週間	2℃	0	177
	5℃	100	232
	8℃	100	241

n=8

<sup>z</sup> 雄しべが1つでも確認できた切り花の割合

<sup>y</sup> (保管後の着色部位長/保管前の着色部位長)×100

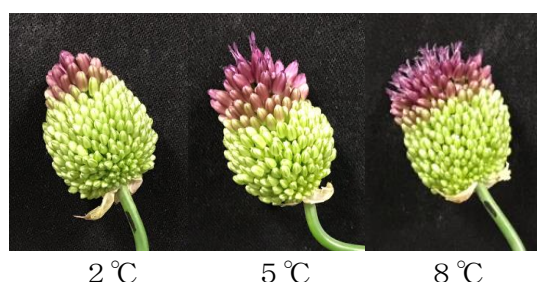


図1 3週間保管終了後の品質



図2 保管前と半分の花房開花到達した花房

表2 湿式保管時の温度と期間が生け花後の切り花品質に及ぼす影響

保管期間	保管温度	半分開花 茎黄化	
		到達日数 <sup>z</sup> (日)	発生率 <sup>y</sup> (%)
なし	-	11.4 a <sup>x</sup>	13
1週間	2℃	10.8 a	13
	5℃	10.9 a	13
	8℃	10.4 a	50
3週間	2℃	8.9 b	0
	5℃	8.4 bc	25
	8℃	7.6 cd	75
5週間	2℃	6.5 de	13
	5℃	5.9 e	100
	8℃	4.5 f	100
7週間	2℃	4.1 f	50
	5℃	3.8 f	100
	8℃	2.1 g	100

n=8

<sup>z</sup> 小花の開花が花房の半分に達するまでの日数

<sup>y</sup> 試験期間(14日間)で茎の中位部分に黄化が見られた株の割合

<sup>x</sup> 異なるアルファベット間にはTukeyの多重比較検定で5%水準で有意差有り



図3 生け花後7日目の品質



図4 茎黄化の発生状況